

G-01

一般社団法人 アースメイト

盛岡市

誰もが幸せを感じられる社会を目指して。

現代社会で生活しづらい方の、仕事、住まいの支援をしています。障がい者の就労継続支援、グループホームの福祉事業所の運営、低所得者向けの住居確保、若い世代の住居、暮らしの支援を行いながら、「誰もが安心して幸せを感じて生きていく社会」を目指して活動しています。「食」をテーマに、農地での就労という生産から、加工、販売まで、障がいの方々と共に汗を流しています。

農地はりんご園での就労、加工は青果市場でのパッケージ作業、なるべく自然の物を使用したコミュニティカフェレストランの運営、青果物の販売等、法人の中でその人に会った職種が選べる様になっています。「仕事」というのは、社会と繋がり、社会の為に貢献できる大切なツール。誰もが仕事につき、誰かの為に働けて、幸せを感じられる社会を目指してスタッフ一同日々楽しく運営しております。



支援するという意識ではなく、併に寄り添い、「今日も楽しかったね。」という日を一日ずつ積み重ねていくのが私の目指したい福祉です。(就労支援継続事業所アースメイト2所属 佐藤真理)

G-03

岩手県立大学 いわて創造教育プログラム

滝沢市

地域の未来を考え、行動する学生を育てる

岩手県立大学は「未来を切り拓く力を高める教育」と「未来創造に資する地域貢献」を推進し、「いわて創造人材の育成と地域の未来創造に貢献する大学」を目指しています。

そこで、4つの学部（看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部）で主専攻として学ぶ専門領域を活かしながら、「地域」をテーマに学部横断的に学ぶ副専攻「いわて創造教育プログラム」を開設し、地域が求める4つの力「いわてを知り、理解する力（情報収集力、理解力）」「いわてを説明する力（発信力）」「いわてをつなぐ力（コミュニケーション力、組織力、実践力）」「いわての未来を創造する力（課題解決力、企画力、行動力、創造力）」を養成することを目指した地域志向教育を開展しています。

この副専攻の全課程を修了した学生には、副専攻を修了し地域が求める能力を修得したことを証明する認定証と「いわて創造人材」の称号を与え、学生が自信を持つ岩手県に定着できるよう、また、地域の企業等からも一定の評価を受けられるよう取り組んでいます。



総合政策学部2年

全学部共通の科目があることから他学部と交流する機会もあるため、様々な視点から見た意見等を知れてより岩手について考え、学ぶことが出来ます。この経験を活かして、地域に貢献できるような人になりたいです。

G-02

岩手大学 COC プロジェクト

盛岡市

ふるさといわて創造教育をめざして

岩手大学は宮沢賢治がイーハトーブと名づけた大地に根ざす高等教育機関として、専門教育と教養教育において地域志向教育を行うことで、郷土に愛着や誇りを持ち、岩手の復興と発展をさせる人材や、地域の伝統文化を理解・尊重し国際的な視野を持って主体的に行動・発信できるグローカルな人材を育成します。ふるさといわて創造をめざす地域志向教育プログラムは、新入生全員が現地を訪れる「震災復興に関する学修」からスタートし、地域の課題を発見・解決する力を鍛える PBL 型授業や深い教養と専門を学び身につけることができる授業、現地や現場を体験するフィールドワークやインターンシップが組み込まれた授業など多彩な科目を用意しています。これら地域志向教育プログラムで学んだ学生からは、すでに地域興しのボランティア・サークルや「いわてキボウスター開拓塾」に参加する学生が生まれつつあります。本ブースでは岩手大学の地域志向教育プログラムを紹介します。



菊田 哲さん

経営者の皆さんへの会社訪問、支部での勉強会、求人などの専門委員会を担当し、「よい会社をつくろう」と頑張る経営者の皆様を微力ながらサポートさせていただいています。一人ひとりが互いに向き合い、語り合いつながら、将来を豊かに展望できる仕事です。会員の皆様と共に成長できる仕事として日夜頑張っています。

G-04

岩手県中小企業家同友会

盛岡市

時代の変革者の一人になろう

～中小企業経営者とともに、国民や地域とともに～

岩手県中小企業家同友会は 1991 年に発足、「よい会社、よい経営者、よい経営環境」の3つの目的の実現を目指して岩手県内を対象に活動しています。現在は盛岡をはじめ、滝沢・零石・八幡平市・紫波・久慈・二戸・奥州市・一関・陸前高田・大船渡・遠野・釜石 6 つの地域に支部地区がつくられており、岩手県内約 400 社の中企業が加盟する経営者団体です。中小企業の繁栄とそこで働く人々の幸せを願い、地域社会の発展のために様々な活動をしています。2010年に閣議決定された『中小企業憲章』の冒頭には「中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である」と謳われています。中小企業は岩手県内企業数の 99.8% を占め、雇用者数の 80% を支えています。中小企業家同友会は、活力溢れ持続可能な地域社会を築くために、企業の経営課題解決と人材育成、地域づくりに取り組んでいます。同友会事務局は「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「経営環境を改善しよう」という 3 つの目的を掲げ活動し、「成長しよう」とされている経営者をサポートするのが、事務局の仕事です。私たち事務局員は中小企業の果たす歴史的・社会的役割を自覚し、地域と共に繁栄する同友会運動を目指しています。

G-05

岩手県中小企業団体中央会

今こそ知っておきたい岩手の中小企業の取組

盛岡市

中小企業は国内企業全体の 99.7%を占め、労働者の約 7 割を雇用するなど、国内産業の根幹を担っています。これら中小企業は、共同で事業を行う協同組合等の中小企業組合をつくって活動をしており、本会はその組合や中小企業の振興・発展を目的に設置された総合支援機関です。県内には約 450 の中小企業組合が存在し共同で様々な事業を展開し、地域経済・産業に貢献しています。

私どもの主な業務は、県内の中小企業組合および中小企業の支援です。震災復興やものづくり、6 次産業化の支援、その他岩手県への就職・定着の支援なども行っています。業務の幅は広く、若手であっても責任のある仕事を任されるやりがいのある職場です。また、国や県等の中小企業担当部署や関係機関と連携をしながら、組合や中小企業の支援を通じて県内の産業振興に貢献できる事業に数多く携わることができます。魅力です。「誰かの役に立ちたい」「岩手の発展のための力になりたい」という想いを行動に移すことができる職場もあります。

県内の組合や中小企業が力を合わせ、その強みを活かして一層発展していくために、各種支援事業を推進していきます。



G-06

岩手県商工会議所連合会・ 盛岡商工会議所

企業と地域を元気にするために

盛岡市



企画振興部

安保 裕之さん

高橋 健一さん

中央会は県内全域にある約 450 の組合等の支援をしており、ほとんどどの業種・業界の方と接することができる職場は、他に多くないと思います。様々な業界の多くの方と接して力になれることに、やりがいや責任を感じています。

商工会議所は、地域の企業により構成される総合経済団体です。全国に 515、岩手県内には 9 の商工会議所があり、それぞれの商工会議所は独立しが独自に連携しながら、地域の企業が元気になるための様々な事業を行っています。企業が元気になるためには、企業そのものの経営状況が良くなければなりません。また、必要な人材を育てる必要があります。そして何より、企業が事業を営む地域全体が元気でなければなりません。

全国の商工会議所では、簿記検定や珠算検定などの各種検定による人材育成や個別の経営指導や金融支援等企業活動を成長・安定させるためのお手伝いを行うとともに、盛岡商工会議所であれば盛岡さんさ踊りの実施や各種イベントの開催といった地域の文化の継承や活性化に関連する事業、まちづくりの検討など行政や大学とも連携しながら、積極的に事業を展開しております。

商工会議所の職員に求められるスキルは多種多様ですが、分野別の研修会や日々の仕事の中で成長することができる職場です。



企画振興部
畠川 怜巳さん

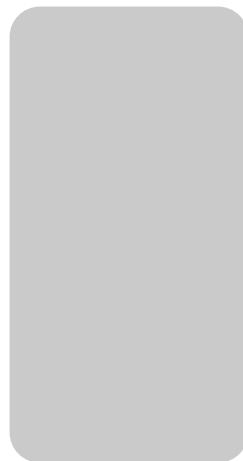
お客様として見ていた「さんさ踊り」や「盛岡花火の祭典」に運営側で携わってみて、一般客とは違った面白さや大変さを知り、成功に終った時の大きな達成感にやりがいを感じました。

G-07

一関工業高等専門学校

グローバル社会で活躍できる技術者の育成

一関市



高等専門学校（高専）の特長は 5 年（本科卒業）あるいは 7 年（専攻科修了）の早期一貫の技術者教育あります。1 学年から学年が上がるにしたがって徐々に専門科目を増やしていく教育手法をとっているので、5 ~ 7 学年で無理なく世界レベルの高度な専門知識を習得することができます。また、課題解決型授業や研究を通して、自主的に考える力や創造力を身につけることができます。就職に関しては毎年数十倍という高い求人倍率を誇っています。卒業生、修了生の多くは企業の実践的技術者として活躍していますが、中には社長・工場長などの管理者や大学・高専・研究機関の研究者として活躍している人もたくさんいます。

平成 29 年度入学生より学科を改組し、これまでの 4 学科体制から 1 学科 4 系 7 分野の教育体制としました。学科名は「未来創造工学科」です。専門を決めずに入學し、第 2 学年進級時に、「機械・知能系」「電気・電子系」「情報・ソフトウェア系」「化学・バイオ系」の 4 つの系の中から専門分野を選ぶことができます。

G-08

滝沢市

岩手県立大学総合政策学部

「スマイルチャージいわてプロジェクト
Fes"an × students」・学生広報グループ「バーガーズ」

「いわての名物バーガー」を売り出そう！

学生広報グループ「バーガーズ」は、岩手県立大学総合政策学部 3 年生の必修科目キャリア・デザイン II からスピン・アウトした学生自ら活動です。学生のアイディアで生まれた商品企画「いわての名物バーガー」=銀河堂バーガーを商品全体の企画から包材、そして、販売戦略に至るまで全て学生が主体となり取り組んできました。具体的には、①SNS 班、②ツール班、③販売班に分かれ、一つの商品を協力して販売まで行いました。「銀河鉄道の夜」をテーマに打合せを何度も重ね、「銀河堂バーガー」を手に取ったお客様に、「岩手の美味しさ」だけではなく、「岩手の素晴らしさ」や「岩手での想い出」を共につくり、味わってほしいという願いをこめています。学生たちの活動を中心にして県内食材生産者、食品加工会社、調理販売するカフェが力を合わせました。

「FES"an × STUDENTS スマイルチャージいわてプロジェクト」は、盛岡駅ビルフェザンがすめる学生との協働プロジェクトで、本学では『南部せんべいくまが来る実』、『かもめの玉子 ばなちょ』に続く新商品第 3 弾の開発プロジェクトです。



総合政策学部 3 年
本山 博仁さん

宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』をテーマに、白と黒の 2 つのバーガーを考案しました。白豚肉をはじめとする岩手県産食材の魅力を多くの方々に知っていただき、銀河堂バーガーが岩手の名物バーガーとなれば幸いです。

G-09

岩手県立大学盛岡短期大学部 学部プロジェクト

学生は何のために世界史を勉強している？

「世界史教育と外国史研究との連携・協働に向けた総合研究—岩手県における世界史教育の現状と課題—」

グローバル化により、各地の観光業や地場産業が直接世界とつながる機会が飛躍的に増えている現在、基礎教養的なものであれ問題解決志向型のものであれ、世界の過去を知ること＝世界史学習の重要性は以前にも増して高まっています。しかしながら、世界史の勉強は嫌いという学生も多く、センター試験で世界史を選択する受験生も増えています。外国の歴史を研究している学者には、世界史の知識を持つもらいたいという気持ちと、興味関心を持ってもらいたい気持ちと、両方があります。学生の皆さんには、何のために世界史を勉強する必要がある、あるいは、勉強したい、と考えているのでしょうか。それを調べるために、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方の大学・短期大学の教員の協力を得て、全 13 校 1,850 名の学生に対し質問紙による調査（アンケート調査）を実施しました。この研究は現在進行形ですので、ご来場の皆さんのお考えも教えていただければ幸いです。



G-11

岩大 E_code

陸前高田応援チーム、岩大 E_code です！

盛岡市

岩手大学の学生と教員有志からなる陸前高田応援チームです。2011 年度から 前身となる活動をはじめ、2012 年 4 月から正式に活動をスタートしました。

陸前高田市内の人たちと市外の人たちをつなぐことを目指し、情報誌（『いいことマップ』『たかたび』『だいぶそこまで』）の発行、各種イベントの主催（「産直りくせんたかた」「ぬぐだるまフェア」）や協力、SNS を用いた市内外の人々と交流、陸前高田訪問者へのガイドなど、陸前高田を応援する活動を多岐にわたって実践してきました。2017 年度は 4 月に開設された陸前高田グローバルキャンパスを舞台として、大学生と市民の人たちと交流の機会づくりをおこなっています。

わたしたちは、自分たちの活動をボランティアだとは考えていません。高田という地域の人と関わる中で、できることを考え、実践し、いろいろ学び、また楽しみ…、そうしたプロセスを通して、応援していかなければと思っています。

陸前高田はとてもすてきなまちです。みなさん、一緒に活動しませんか！？



G-10

岩手県立大学 宮古短期大学部

その先を見る

岩手県立大学宮古短期大学部は、岩手県立大学の 11 の教育部局のうちの 1 つで、[経営情報学科] 1 学科です。平成 2 年（1990）「岩手県立宮古短期大学」として開学し、平成 9 年（1997）「岩手県立大学」に統合されました。学生赤十字奉仕団は平成 20 年度の活動開始以来、宮古市社会福祉協議会との緊密な連携のもと地域への奉仕活動を実施しています。

東日本大震災後は、被災者支援の活動を主軸に、側溝海泥の清掃、個人宅の片付け、支援物資仕分け、仮設住宅サロン運営補助やシチューなどお振舞い、独居高齢者の孤立を防ぐ訪問活動や生活再建への協働など地域の復興に向け活動しています。

最近の主な活動は、宮古駅前花植、宮古市社会福祉協議会「わくわく祭り」参加、県立大復興国際フォーラム宮古会場主催、日本赤十字社青奉研究会に岩手県代表として参加、老人ホーム納涼祭支援、台風 10 号被害復旧支援、災害時食事（カレー）提供訓練、被災地研修企画～実施、日本赤十字社献血補助、NHK『被災地からの声』出演、全国知事会議 in 岩手活動発表、宮古市学生ボランティア交流会共催、アメリカ・スノーハイスクール被災者意識調査協力、他です。今年は【第 6 回東北みらい賞】を受賞しました。



岩手県立大学宮古短期大学部
学生赤十字奉仕団第 9 代委員長
野村 涼さん

東日本大震災から 6 年半の時が経ちました。これからも被災地唯一の学生奉仕団として地域に寄り添っていく活動をしながら、宮古の魅力を発信しつづけ、宮古短期大学部学生赤十字奉仕団全体で宮古を盛り上げてきます。



個別指導・集団授業 SoRa
後藤 翔也さん

私が一番やりがいを感じる瞬間は、塾を卒業した生徒が近況報告をしに顔を出しに来てくれた時です。塾は学校とは違い、場合によっては生まれてから一生みていくことができます。私は子どもたちの夢をこれからも応援し続けています。

G-12

SoRaStars 株式会社

人「在」育成

盛岡市

岩手県盛岡市で、「個別指導・集団授業 SoRa」（学習塾）、「SoRaCafe」（飲食店）の経営、そして「ドリーム・シード・プロジェクト」という各種イベントを実施している団体を運営しております。関わる全てのヒト・モノの在り方を輝かせ、その可能性を世界に羽ばたかせる、というスローガンのもと、「学力」「人間力」双方を教育していき、輝くオトナが地域に関わっていくことを目指しています。そのため、輝く働く姿を伝えるために塾の先生がカフェ店員をやったり、岩手で活躍しているオトナと学生を繋げていくイベントを主催したり、中高生の中高生による中高生のためのプレゼントイベント「High School DRIVE」を定期開催。昨年は学生起業家の第一人者である椎木里佳氏を東京よりお招きして 200 人規模の意見交換会 (High School RISE) を実施した。また、保護者教育にも力を入れており、マザーカレッジのサテライト校としても受験生の親御さんはもちろん、幼児から子離れ世代の保護者までのコーチング、各種講演も行っております。子どもたちの未来のためにスタッフは「魅せる」をテーマに日々、取り組んでおります。

ひとづくり・まちづくり

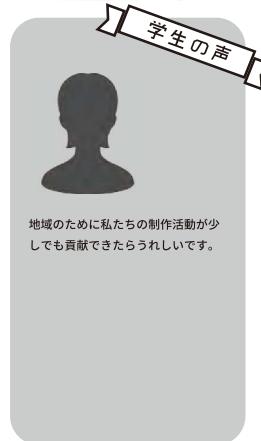
G-13

岩手大学 視覚文化（映像メディア）研究室

盛岡市

ヴィジュアルカルチャーで地域貢献

私たちの視覚文化（ビジュアル・カルチャー）研究室では、デザインやアート、そしてサブカルチャーに関連する制作研究をやっています。映像・アニメーション、Webデザイン、手描きのイラストレーション、漫画・絵本、グラフィック・広告デザイン、メディアアート、ゲーム、フィギュアなど、幅広い領域に個々の学生が自分の得意分野を取り組んでいますが、単に趣味のレベルで終わることのないように、研究室では「地域課題解決プログラム」の一環として、学外の人と連携し地域のために役立つコンテンツづくりを考えしていく取り組みを行っています。個人制作にとどめず、地域のためのプロジェクトを進めていくことで将来的に制作系の現場などで活躍できる体験ができれば幸いです。



地域のために私たちの制作活動が少しでも貢献できたらうれしいです。

G-14

いわてで働く推進協議会

盛岡市

若者や女性の県内就職をオール岩手で推進！

全国的に地方創生の動きが活発化している一方で、県内産業を支える人材の確保が深刻な課題となっています。この状況において、若者や女性がやりがいを感じ、生活を支える所得を得て県内で活躍するためには、行政、産業界、教育機関等が一体となって取組を進めていくことが重要です。

産学官金労の関係機関 27 団体で構成する「いわてで働く推進協議会」（会長・岩手県知事達増拓也）では、岩手の仕事・就職情報サイト「シゴトバクラシバいわて」による就業支援情報の発信や、総合イベント「いわてとワタシゴト展」による岩手で働くことの魅力発信、県内就職促進のためのワーキンググループの開催など、地域の産業を支える人材が岩手県で活躍できる環境づくりのため、関係機関が連携して、さまざまな事業に取り組んでいます。

今後も、岩手で働く皆さんが生きがいを感じ、希望に満ちあふれた岩手を実現するため、県内就職や創業支援の充実をオール岩手で推進します。



GOOD JOB, IWATE!
MANY GOOD JOBS.
いわてで働く

G-15

一関市

一関市

みつけよう育てよう 郷土の宝 いのち輝く一関

一関市は、岩手県の南端、南は宮城県、西は秋田県と接し、盛岡市と仙台市の中間地点、東北地方のほぼ中央に位置し、東西は約 63km、南北は約 46km あります。

総面積は 1,256.42k m²、人口は 119,655 人（H29.10.1 現在）で、面積・人口とも岩手県で 2 番目です。

市の西側には栗駒山や須川温泉、東側には室根山や北上高地など豊かな自然、厳美溪や猊鼻渓といった名所があり、世界文化遺産「平泉」の関連遺産である骨寺村莊園遺跡、国の指定重要無形文化財である室根神社特別大祭、大東大原水かけ祭りや藤沢野焼祭など地域の特色ある祭りもあります。「もち食文化」の発信地として全国ご当地もちサミット、一関・平泉バルーンフェスティバルや地ビールフェスティバルといったイベントでは全国から多くのお客様をお迎えしています。

市民が主体となり、ILC（国際リニアコライダー）を基軸としたまちづくり、資源・エネルギー循環型のまちづくり、地域の資源を活用したまちづくり、子どもたちの未来に残すまちづくりを柱として、まちづくりを進めています。



G-16

岩泉町

岩泉町

チャレンジするフィールドがあるまち 岩泉

岩泉町は、盛岡市の東部にあり、車で約 2 時間掛かる場所に位置しています。西は北上高地、東は太平洋に臨み、東西 51 キロメートル、南北 41 キロメートル、面積は 992.36 平方キロメートルで、本州の町としては随一の面積を有しています。

岩泉町の基幹産業は、「農業」を中心とした一次産業と「観光」を中心とした三次産業となっております。農業については、日本一の生産量を誇る「畑わさび」が特産品となっており、観光については、日本三大鍾乳洞の一つの「龍泉洞」があります。また、町内の酪農家が生産した生乳を使った「岩泉ヨーグルト」も特産品の一つです。

現在、各産業分野においての人材の育成・確保に力を入れており、今回紹介する「岩泉型インターンシップ」もその取り組みの一環です。まずは、実際に現地を訪れて、現地で働き、現地のことを知ってもらうことが大事であると考え始めました。少しでも興味がある方がいらっしゃれば、ぜひともブースに足を運んでいただければと思います。



M ひとつくり・まちづくり

ふるさと発見！大交流会 in Iwate 2017

G-17

盛岡市

いわてグローカル人材育成推進協議会
(公益財団法人岩手県国際交流協会)

岩手の未来をつくる若者の留学を応援します。

「トビタテ！留学 JAPAN 地域人材コース」

岩手と海外をつなぐさまざまな経験を通じ、グローバルな視野で地域の活性化に貢献したい！そんな意欲ある学生のチャレンジを産学官一体で応援します。
実践活動を主とした海外留学と岩手県内企業でのインターンシップを組み合わせた留学プログラムにあなたも挑戦してみませんか？



学生の声

本年度、本留学プログラムに採択された学生8名（岩手大学5名・岩手県立大学1名、岩手医科大学1名・一関工業高等専門学校1名）は、県内のインターンシップ終了後、8月18日から順次海外に飛び立ち、自分のテーマに沿った海外留学に取り組んでいます。

（写真キャプション：決意を新たに飛び立つ派遣学生8名）

G-18

大船渡市

NPO 法人 WIZ

若手のネットワークで岩手を盛り上げる



若手社員の声



コーディネーター
中村 サチさん

実践型インターンへの参加がきっかけで、新しい挑戦を始めた学生さんの活躍を聞いたときや、そんな学生たちと継続的に関わることがとても嬉しいです。また、受け入れ先企業へ事業貢献ができるときにもやりがいを感じます。

G-19

盛岡市

株式会社エムシーエス
生涯学習センター

がんばる心にガンバル会社、学習塾M進です

昭和 28 年に誕生した「進学研究会」。岩手の子供たちの学力向上のために真摯に取り組み、教務・進学指導、人間育成に力を入れてきた塾です。「M進」は、この進学研究会の思いを引き継ぎ、今も変わらない、同じ気持ちで子供たちに接しています。いつも本気で考え、指導する。全身で子供の成長を喜ぶ。「人は限りない可能性を秘めている」という教育理念のもと、私たちは、日本や世界の将来を担う子供たちのサポートという仕事を通して、自身も成長できる感謝の心を持って、これからも地元である岩手に貢献したいと考えます。

職場は、若い社員とベテラン社員が融合し、活気があります。どんな状況においても考え方を持ち合い、話し合い、臨機応変に対応できる力があります。また、社員の育成に力を入れており、塾という枠をこえ、多方面から学べる機会を設けています。さらに、福利厚生は充実しており、感性を磨くことを重視した年1回の社員研修旅行は、国内外ともに充実したプログラムです。もりおかタニタ食堂の食事補助、タニタの健康サポートも行っています。



若手社員の声



教育事業部
中田 隆大さん

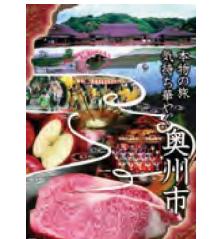
私は、生徒と講師の潤滑油になることを心がけています。教室長として働きやすい環境を作る、その結果として、生徒や保護者様が授業や対応に満足していただける、と思っています。毎日が充実しています。

G-20

奥州市

奥州市

地域の個性がひかり輝く自治と協働のまち



若手社員の声



農林部農地林務課
畠山 泰河さん

市外出身の私ですが、農業・工業の盛んな奥州市に魅力を感じこの地での就職を決めました。実際に働いてみて民間企業では関わることのできない事業等に取り組むことができ、毎日貴重な体験をすることができています。

ひとづくり・まちづくり

ふるさと発見！大交流会 in Iwate 2017

G-21

釜石市

<釜石ローカルベンチャーコミュニティ>

釜石市

地域課題の解決に向けて、一緒にビジネスを考えよう！

釜石市では現在、地域に根ざした起業家を支援するローカルベンチャーコミュニティを展開しています。

今回は本コミュニティから生まれた事業の1つ『BIZ CAMP』についてご紹介します。

■BIZ CAMPとは…

「若者たちが地域課題をビジネスを通して解決していく社会」をコンセプトにして、全国各地域の学生から若手社会人を対象として開催される合宿型のビジネスコンテストです。

■BIZ CAMPの特徴…

3泊4日の合宿を通して、仲間達と学び合いながら、自分の思い描く事業プランを形にすることができます。

1、実際に地域に出て、地域で活躍する方々から学びながら事業プランを考えることで、自2、分の肌で地域の魅力を再発見できます。

3、いい事業プランに対しては、参加企業が実際の事業化に向けて出資をしてくれます。



釜石ローカルベンチャー
プログラム

石橋孝太郎さん

BIZ CAMPは非常にコンパクトな期間ですが、全国から集まった学生たちと切磋琢磨しながら、どんなプログラムよりも濃密な経験をすることができます！みなさんの参加をお待ちしています！！

G-23

杏林大学

東京にいながら岩手を学ぶ

東京都

杏林大学が進めている「地域交流」は総合大学としての特徴を活かして（医学部、保健学部、総合政策学部、外国語学部）健康・福祉、地域活性化、防災など様々な分野で行っています。COC事業（地域を志向する人材の育成）に加えて、COC+事業（地方創生の中心となる「ひと」の集積を目指す事業）を推進していく中で、本学は岩手大学を中心とし、岩手県内への「ひと」の集積を推進しています。杏林大学は東京都内に所在する大学ですが、この事業を協働していることから、正課授業の中で「岩手県」の地域課題を取り上げ、東京にいながらも岩手を学ぶ機会を設けています。この活動によって本学へ進学後のリターンや、岩手県を支える魅力的な人材の育成に尽力しております。

大学での学びは座学だけではありません。地域におけるボランティアやクラブ活動、ゼミ活動で得る経験や知識は、岩手県に就職した後でも十分に発揮できるはずです。『岩手県』と一緒に学び、再発見して、感じてもらいたいと思います。杏林大学では地域で活躍する学生を精一杯応援します。



外国语学部
観光交流文化学科1年
田口 美音さん

学生時代に東京に来る事で得ることは沢山あると感じます。客観的に岩手を見て今までどんな地域に住んでいたかを理解する事で視野が大きく広がります。東京で学ぶことは将来の自分にとって必ずプラスとなるはずです。

G-22

起業家人材育成講座

いわてキボウスター開拓塾

岩手で夢を実現する、学生起業家と地域リーダー

盛岡市

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）の一環として昨年秋からスタートした『いわてキボウスター開拓塾』は、岩手を変える地域リーダーと学生がコラボレーションしながらアントレプレナーシップを学ぶ、半年間の超実践型週末スクールです。

現在約20名の3期生が受講中ですが、既に1,2期生38名が卒業し、それぞれの分野、場所で活躍を始めています。

地域リーダー（起業家・事業者）を講師に招き、一緒に地域・経営課題を考え、現場感覚重視で学ぶ超実践型の授業内容。

2期と3期は、起業家の本格的アドバイスを受けながら座学やワークショップ、グループワークを中心として、ビジネスプランを生み出すことを目標としましたが、4期はフィールドワークをメインの活動とし、ビジネスプランをよりリアルに具体的に展開していきます。

大学や学部、学年の垣根を飛び越えての参加を期待しています！



中村佳祐さん

キボウスタで活動するようになって、人の話を広く聞いて自分の考えを持つことを意識するようになった。活動初期の頃は嬉しい大人に合う度その人の話に引っ張られていたが、活動を続ける中で対立の立場にある方の意見を聞く機会もあり、それはどちらも正しく、結局のところ自分がどう考えそれを人に納得させるだけの考えになっているかということなのだと気づくことができた。キボウスタへの参加を"忙しい・大変そう"を理由で迷っている人。その"忙しい・大変そう"は早く経験するか遅く経験するかの違いなので、大学生のうちに経験した方が良いと思う。

G-24

株式会社 菊池技研コンサルタント

地域への感謝、恩返し

～地域の暮らしは建コンが守る～

大船渡市

建設コンサルタント（建コン）として大船渡市に設立した菊池技研コンサルタントは、主に公共事業に関する測量、設計、調査を行い、岩手の生活基盤を支えています。高い技術力でよりよい「まちづくり」を提案するため、資格取得に励み、社内でもバックアップ体制を設けています。平均年齢がやや高い一方、近年若手社員が増えたことで社内に『若手の会』を組織し、「若手自身が自ら考えて行動する」をモットーに自主的な活動を行っています。

ユニークなポイントが多い菊池技研ですが、特に注目したいのがイベントの多さです。同ジャンルの企業では一番と自負するイベントの頻度はなんと、毎月一つ以上です。なかでも、11月に行われる社内文化祭は同ジャンルだけでなく、他の職種でもなかなか見られないイベントではないでしょうか。また、地域のお祭りや清掃などで地元を盛り上げるのはもちろんのこと、消防団員も多く、本業（基盤整備）以外の面でも地域に貢献しています。



設計課

佐藤伴哉さん

もともと測量に興味があり、いろいろと巡ってみて、最終的に決めたのが菊池技研でした。測量部署に配属されるものと思っていたましたが、配属は設計課でした（笑）でも、やってみると意外にもおもしろく、自分が設計したもののが形になる日を夢見て日々頑張っています。

G-25

北上市

北上市

「自ら創造し、いきいきと支えあい、笑顔咲きほこるまち」

北上市は、北上平野のほぼ中央に位置し、北上川と和賀川が合流する肥よくな土地に美しい田園地帯が広がり、西に奥羽、東に北上山系の美しい山々が連なる豊かな自然に恵まれています。また、古くから交通の要衝として栄え、近年は新幹線や高速道路など高速交通網が結節する利便性の高さを生かした産業集積により、東北有数の工業集積都市として発展してきました。こうした先人たちの努力のおかげで、現在「住みよさランキング」で8年連続県内第1位という評価をいただいています。

北上市では、人口減少・少子高齢社会にあっても安心して暮らし続けることのできるまち「あじさい都市」の実現に向け、市民・企業・行政の有機的な連携と協働のもと、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

市民一人ひとりが心豊かで未来に希望の持てる暮らしを実現することが、北上市の目指すべき将来の都市像と考えます。躍動的な北上市を市民が主体となってさらに発展させ、誰もが心の豊かさを感じられるような“魅力あふれるまち”的実現を目指します。



企画部都市プロモーション課
藤田 哲平さん

北上・みのく芸能まつりに、記録係として初めて参加したことが印象に残っています。幼いころから親しんできた祭りですが、改めてその迫力に驚きました。それを記録に収め、伝えられるやりがいも併せて感じました。

G-26

久慈市役所 商工振興課

久慈市

Kターン就職を地域ぐるみで応援！久慈市

高校を卒業すると約6割の若者が市外に進学・就職している久慈市。でも、このままじゃいけないと久慈市内の企業が立ち上がり活動を始めています。市内企業の情報発信の強化、地域ぐるみで行う内定者・新採用研修会を通じての市内の同期生の結成など…

実際にKターン（久慈市（KUJI）にUJIターン）した方は、地元久慈市だからこそかなえられる夢を見つけ、その自己実現を果たそうと歩き出しています。

「将来は会社の役員になって、会社だけでなく、地域でも活躍して久慈市のまちづくりを行っていく！」そんなお金だけじゃない、人生のやりがいと一緒に感じてみませんか？

久慈市でも、「Kターン若者雇用拡大奨励金制度」や「新卒者雇用支援奨励金制度」を創設し市内に就職した方へ奨励金を交付するなど、市を挙げて久慈市内企業への就職を支援しています。

是非この機会に、久慈市にはどんな会社があるのか、県北沿岸地域の気候や住環境と併せて再確認してみませんか？



G-27

葛巻町

葛巻町

ミルクとワインとクリーンエネルギーの町

葛巻町は盛岡市から約70km、県の北部に位置し、標高1000m級の山々に囲まれた高原風土が漂う酪農と林業の町です。人口は平成29年9月末の住民基本台帳人口で6,390人、世帯数は2,767世帯。明治25年のホルスタイン種導入以来、乳牛飼養頭数は約9,000頭に拡大し、東北一の酪農郷として発展。山野に自生する山ぶどうを生かしたワイン造りや風力・太陽光・バイオマスなどのクリーンエネルギーをいち早く導入するなど、町の持つ多面的な機能と資源を最大限に活用しながら、山村でしかできないまちづくりに果敢に挑戦し続けています。

自治会や消防団、各種団体の活動も盛んで、地域住民が主体的に地域づくりに参加するなど、行政と住民が一体となったまちづくりを推進しています。

○葛巻町役場の紹介

職員数142名（平成29年4月）。一般行政職の平均年齢は39.9歳（平成28年度。県内自治体では7番目の若さ。）職員間の意思疎通もスムーズで、職員が課を越えて各種事業に参加したり、運営に協力したりするなど、常に連携しながら業務に当たっています。



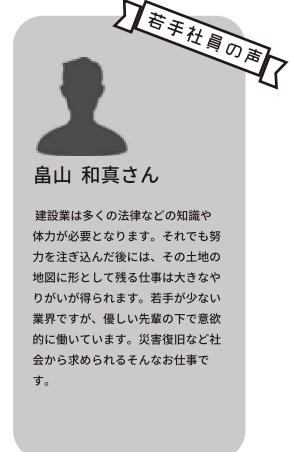
総務企画課
大石 将諭さん
(盛岡中央高校出身)

昨年葛巻町役場に入庁し、広報を担当して2年目になります。仕事の好きなところは、人と接する機会が多いこと。葛巻の人は優しい人ばかりで、取材を通じて、さまざまな方から元気をいただきながら頑張っています。

G-28

株式会社昭和土木設計

「うちの会社は面白い！
地元での生活設計を実現できる会社です！」



畠山 和真さん

建設業は多くの法律などの知識や体力が必要となります。それでも努力を注ぎ込んだ後には、その土地の地図に形として残る仕事は大きなやりがいが得られます。若手が少ない業界ですが、優しい先輩の下で意欲的に働いています。災害復旧など社会から求められるそんなお仕事です。

ひとづくり・まちづくり

G-29

滝沢市

(滝沢市 IPU イノベーションセンター)

緑豊かなチャグチャグ馬コの里～滝沢市～

滝沢市

滝沢市は岩手山のふもと、また盛岡市の西側に位置し、都市と自然とが豊かに交じり合うまちです。市内には国県などの研究機関のほか、岩手県立大学や盛岡大といった研究機関が立地し、研究・学園地域としての色合いを深めています。毎年6月の第2土曜日は伝統行事「チャグチャグ馬コ」が開催され、色とりどりの衣装を身にまとった馬が市内の鬼越蒼然神社から盛岡八幡宮まで鈴の音を鳴らして行進します。

そんな研究・学園地域である滝沢市には、IT関連企業を応援する「滝沢市IPUイノベーションセンター」が岩手県立大学に隣接し、産学官の連携による持続的なイノベーションを目指しています。現在は、ソフトウェア開発・システム開発・WEB製作など、IT産業に関連した企業18社が入居し、大学などと連携しながら業務を行っています。イノベーションセンターでは、仕事するだけでなく、人材の育成・発展に向けた勉強会・交流会の場としても機能しております。

本日の大交流会では、「滝沢市で働くこと」についてみなさまにご紹介します。



G-30

D S・J 岩手金ヶ崎校

第4の情報革命 IOT ドローンは「空の産業革命」

金ヶ崎町



岩手県の県南に位置する金ヶ崎町は、広大な敷地とその資源を活かし、農業、酪農、工業がそれぞれ盛んな全国的に珍しい町です。医薬品、半導体、自動車工業地帯の先に、緑豊かな牧草地が広がっております。

D S・J 岩手金ヶ崎校では東北最大級となる屋内施設を完備し、宿泊施設が併設されております。遠方の方や短期取得には合宿免許での受講が可能です。



D S・J 岩手金ヶ崎校

藤原 洋祐さん

岩手のドローンスクールは2017年から始まったばかりです。私もスクールへ通い、認定資格を取得しました。その資格を生かし、60業種以上あると言われているドローン事業へ参加できることにやりがいを感じています。

G-31

遠野市

「遠野スタイルによる創造・発展」

遠野市



永遠の日本のふるさと遠野で仕事をしてみませんか。

少子高齢化、人口減少など社会問題に対応していくため「遠野スタイルによる創造・発展」をまちづくりの基本理念として、自分たちのまちをより良くしようと行動すること、官民一体・市民協働による総合力を結集し進化し続けるまちづくりに取り組んであります。国や県ばかりに頼らず基礎自治体としてできることに挑戦し続けることこそ「遠野スタイル」。

行政の枠にとらわれず、東日本大震災時には被災自治体の後方支援活動の拠点となった取り組みや産科のない地域でも妊婦の負担軽減を図るためにICTを活用した妊婦健診「安産の里づくり」、企業と自治体による新たな地域づくり「遠野みらい創りカレッジ」「TKプロジェクト」など従来の自治体職員の概念にとらわれない取り組みに、遠野市の職員となって仕事をしてみませんか。

G-32

二戸市

挑戦します！次代に紡ぐふるさとづくり

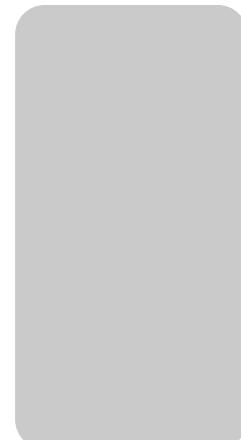
二戸市



岩手県のてっぺんに位置する二戸市は、東北最大級のヒメボタルの観賞地「折爪・馬仙峠県立自然公園」や国指定の史跡「九戸城跡」、瀬戸内寂聴師が名譽住職を務める「天台寺」、そして座敷わらし伝説の残る「金田一温泉郷」など自然・歴史・文化の宝を楽しむことができます。また、日本一の生産量を誇る漆で作る淨法寺漆器をはじめ、県内外へ出荷される多くの人に愛されている若鶴・短角牛・三元豚の食肉、りんご・さくらんぼ・ブルーベリーなどの果物、折爪岳の伏流水で醸す地酒など、豊かな自然たちがもたらす最高の恵みをご堪能頂けます。

さて、二戸市では地域企業でのインターンシップを応援！実習中、企業までの交通費等を支援します。また、企業での実習のほか、地域を知るプログラムを実施しています。サポートデスクが事前、実習中、事後と相談に応じ、安心して実習できます。

8月22日から24日まで、「インターンシップin」への「4DAYS」が行われました。2日目のオプショナルプログラムでは、「地域おこし協力隊が紹介する、おススメ二戸スポット巡り」で二戸の魅力を満喫★。最終日には二戸地域で働いている先輩や企業の方との交流会がござやかに行われました。2月にも予定しておりますので、学生のみなさん、インターンシップを通じて企業の魅力、二戸地域の魅力を体感してください！



ひとづくり・まちづくり

ふるさと発見！大交流会 in Iwate 2017

G-33

八幡平市

農（みのり）と輝（ひかり）の大地

八幡平市

八幡平市の将来像は「農と輝の大地」。農（みのり）とは...本地域の基幹産業である農業を意味し、品質・生産量ともに日本一のりんどうをはじめ、米やほうれんそう、畜産物など他に誇れる優れた農産物をイメージしています。また、健やかで生きがいや喜びにあふれた人々が「結（ゆい）」の精神で連携・協働していくまちの姿を意味しています。輝（ひかり）とは...萌える若葉の緑、清らかな水と澄んだ空の青、鮮やかな紅葉の赤、純白の雪をイメージし、豊かな森林と躍動感あふれる観光や商工業を表しています。また、北東北の交流新拠点として人や物、情報が活発に行き交い、未来に向かって限りない発展をする市の将来像を意味しています。自然豊かな八幡平市は、四季折々の楽しみ方があり、春は桜と残雪のコラボレーション、夏は岩手山をはじめとする夏山登山や渓流釣り、秋は燃ゆるような紅葉を見上げながらの露天風呂、冬はスキー・スノーボードなどのウインターリゾートが満載。冷えた体を温めるのはやっぱり温泉です。



企画財政課地域戦略係
主任
佐々木 靖人さん

岩手山、八幡平、安比高原に象徴される風光明媚な八幡平市で自然を満喫しながら活動し働くことはとても幸せなことです。このような環境の中、市や地域の発展のために貢献できることにとてもやりがいを感じます。

G-34

花巻市

大迫ぶどうで花巻を幸せにさせる夢を抱く男

花巻市

“花巻と聞くと何をイメージしますか？宮沢賢治？高村光太郎？それとも花巻空港？皆さんの世代であれば花巻東？マルカンのソフトクリーム？”

花巻は、今、いろいろな動きを見せています。街中のリノベーションや大迫のワインやブドウ栽培。南部社氏の里、石鳥谷の田んぼアートや東和のアートクラフトフェアなど。

その街の動きに併せて、多様な働き方をする人たちが活躍し始めています。そんな花巻にふれてみませんか？ふるさと発見 大交流会 in Iwate 2017 では、2年前から花巻に住み、地域と直接かかわりながら自分も成長した地域おこし協力隊員が花巻でだからできる働き方・暮らし方を自分の経験をもとにお話しします。

日常生活から生活費・地域との飲み会や祭りへの参加など、どっぷり地域に問い合わせリアルな働き方を聞いてみませんか。



花巻市地域おこし協力隊
鈴木 寛太さん

東京生まれの青年が一人、花巻市大迫町に移住し、ぶどうを使った地域おこしにチャレンジ！
ぶどう部？かんたはうす？ 来たらわかるぜ花巻市！

G-35

パソナ東北創生

<復興・創生インターン>

ー好きな街が、できました。

釜石市

<<<釜石でインターンシップに挑戦する学生募集>>>

春休み期間で釜石市内の7つの企業にてインターンシップを実施します。
地元企業、NPOの経営者と一緒に望む7つのプロジェクト。チャレンジスピリット溢れた学生を募集します。
(インターンが初めての人、少しだけ話しを聞いてみたい人も大歓迎！あなたの話を聞かせてください。)

釜石でインターンを行う理由(3つ)

1. まちづくりのキーパイロットである地元経営者のもとでインターンが出来ます。
ー街づくりに関わる地元企業の経営者と共にインターンに取り組めます。
2. 専門のコーディネーターが併走します。
ーエントリー、マッチング～インターン期間中まで、現地コーディネーターがあなたの挑戦を支えます。
3. 地域の方との交流も盛んです。
ー同時にインターンをする14名の学生、地域の若手起業家、市役所の同年代職員、釜石には様々な人と交流があります。



徳島大学3年
田中 美有さん

新事業を創る1ヶ月間】私は地域ベンチャー企業で地域資源の野草を使ったハーブティの商品開発を行いました。
企業経営者、地域の方と協力して商品を作り、最後には東京でのサンプリング実施までの経験を得ました。

G-36

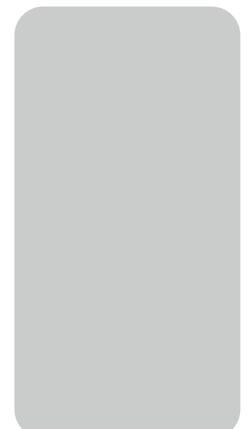
富士大学

新ステージの地域貢献

花巻市

富士大学は「地域貢献」を大学の使命と位置付け、地域の経済・経営人材の育成、生涯学習機会の提供、まちづくり支援などを行ってきました。そのために、行政・企業・金融等と連携協定を結び、昨年からは「地域創生論」等の公開講座を開講し、地域住民と共に学ぶ機会を設けました。更に、地域貢献チャネルの多様化と自治体等との連携強化のために、地域連携の中心組織である「地域連携推進センター」や地域経済文化研究の中心的組織で、生涯学習支援も担当する「地域経済文化研究所」の他、次のように組織の新設・強化等を図ることにより、地域貢献の新しいステージに入っています。

- ①「異文化交流センター」：単なる国際交流に留まらず、留学生等と地域住民との異文化交流を推進する。
- ②「スポーツ振興アカデミー」：大学の有するスポーツ資源を活用して、地域スポーツの活性化、地域住民の健康増進、岩手のスポーツの競技力の向上を図る。
- ③「大学院改革」：地域や環境に関する授業科目を新設し、循環型地域経済社会形成に資する研究を自治体とともに進めいく。



G-37

花巻市

富士大学 地域連携推進センター

地域の新しい社会構築を担うリーダーを育成！

富士大学は自治体としっかりと手を結び、次の時代を切り拓く人材を育成するプログラムをスタートしました！「地域定住人材育成プログラム」は、故郷に愛着を持ち、地域振興に意欲的な人材を受け入れ、経済・経営・法律を学修するほか地域に関するフィールドワークを行い、様々な課題の解決に必要な幅広い知識と実践力を身につけます。将来、自治体や商工会議所、公社、金融機関、JA、森林組合等に就職し活躍するよう、キャリア教育も万全の体制をとっています。

「地域・高大連携協定校特別試験」を受験、合格した皆さんには、自治体や地元企業からの経済的援助を受けて、4年間学ぶことができます。



経済学部経済学科1年
柳畠 貴太さん

「地域創生論」ほか地域に関する科目で实例を学び、課題を探求、将来様々な形で地域の活性化に繋げることができます。卒業後は、昨年台風被害のあった地元・岩泉町の復興のため、役場職員になりたいと思っています。

G-38

二戸市

株式会社 フクタ

未来を拓く石がある



品質管理担当
工藤 健太郎さん

フクタでは、長い目で見てスケールの大きい仕事ができることが自慢です。入社後も、技術開発などの新しいことを任せてもらえるため、やりがいを感じています。

G-39

盛岡市

公益財団法人 ふるさといわて定住財団

岩手の企業、知らないなんてもったいない！

岩手県内へ就職するためのお手伝いをしています。

皆さん、岩手県内にとてもたくさんの企業があることを知っていますか。

定住財団のホームページでは、登録している800社以上の企業の会社情報や求人情報を掲載しています。登録の企業は、岩手県内に本社、工場などの事業所があり、正社員の求人または正社員への登用制度がある求人を持っている企業ばかりなので、岩手県内の企業を知りたい！という方にぴったりのサイトです。ぜひ一度覗いてみてください。Facebookも更新中です。

また、就職活動を応援するために、企業と直接面談できる「いわて就職ガイダンス（会社説明会）」を毎年4月に、「いわて就職面接会」を6～12月の間に4回開催しています。毎回約150社の企業が参加するほか、ハローワークの就職相談や市町村の情報提供なども行っているので、きっと自分に合う企業が見つかります。

岩手で自分が輝ける企業を見つけて、一緒に岩手を盛り上げていきましょう。



(公財) ふるさといわて定住財団
武田 侑子さん

岩手県内には思った以上に沢山の企業があり、それぞれの仕事内容を把握していくのはとても楽しいです。また企業側の採用難といわれる中、就職面接会に参加して採用できたという報告を頂いた時はやりがいを感じます。

G-40

宮古市

宮古市

『森・川・海』とひとが共生する安らぎのまち



本州最東端に位置する宮古市は、北上山地より連なる緑豊かな山々と、渓谷の美しい閉伊川、リアス式海岸の壮大な景観の、「森・川・海」に囲まれたまちです。平成23年の東日本大震災、昨年の台風10号災害からの復興・発展に向けて、市民一丸となり、誰もがいつまでも住み続けたいまちづくりに取り組んでいます。

来年6月22日には、岩手県初のフェリー定期航路が開設します。宮古市と北海道室蘭市を1日1往復、10時間で結びます。また、現在工事中の「宮古盛岡横断道路」「三陸沿岸道路」が開通すると、宮古-盛岡間が約90分、宮古-仙台間が約3時間でそれぞれアクセスできる予定です。観光はもちろん、物流面でもその効果が大いに期待されています。

これからさらに魅力的な街へと発展していく宮古市。そんな宮古市への就職に興味をお持ちの方、宮古市の企業について知りたい方、一緒に宮古市のまちづくりをやってみたい方、お気軽に声を掛けてください！

住めば宮古！住むなら宮古！！

G-41

未来図書館

可能性の追求ができる場所

盛岡市



未来図書館は今から 14 年前の平成 16 年に「子どもと社会をつなぐ」という思いのもとに設立された、特定非営利活動法人の組織です。現在職員は 4 名という少人数ですが、たくさんの会員や講師の方々と力を合わせて活動しています。4 名の職員は全員が、人に寄り添うことのできる人材です。岩手で生活する小中高生に自分自身の将来を想像してもらえるよう奮闘しながら、社会人と子どもとが互いに交流し、働き方や生き方について意見を交わすプログラムを実施しています。多様な生き方の大人の方々を講師として学校へお呼びして、岩手の子どもたちとマッチングさせることで、貴重な人材との出会いがいくつも生まれています。今後は、未来図書館のプログラムに大学生の力を貸してもらいたいです。プログラムに関してアイデアを出してもらうなど、大学生目線のおもしろい発想にヒントをもらうことも多く、学生が活躍しやすい仕組みを作りたいと考えています。

G-42

盛岡大学短期大学部 岩崎ゼミ『子どもの居場所支援活動』

子どもの居場所づくりと地域とのかかわり

滝沢市



恒川 かおりさん

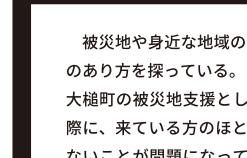
未来図書館は柔軟な団体であると思っています。プログラムに参加する子どもや先生、講師の方々は毎回違うので、同じプログラムでも毎回違ったものになります。時間をかけて丁寧にプログラムの運営をすることで、心がこもったおもしろい内容になっていくのが魅力的です。

G-42

盛岡大学短期大学部 岩崎ゼミ『子どもの居場所支援活動』

子どもの居場所づくりと地域とのかかわり

滝沢市



被災地や身近な地域の学童等に対する支援活動を通して『子どもの居場所づくり』のあり方を探っている。大槌町の被災地支援として行っていた『お茶っこ会』にスタッフとして参加した際に、来ている方のほとんどは高齢の方であった。当初被災地では子ども遊び場がないことが問題になっていたので、子どもも参加したくなるような活動を検討した結果、『流しそうめん』や『餅つき』等のイベントを提案した。その結果、子どもたちやその親も参加してきた。

また、被災地支援で行い始めた『影絵人形劇』活動も 2 年目には他の地域でも依頼されればお伺いして上映していた。2 年目後半からは小学生がいる学校や児童センター等から依頼があった際には、子どもたちが見る側から上映する側に立ち主体的にかかわることの意図を伝え、影絵人形劇の作り方と演技方を教え、子どもたちと学生とがコラボして影絵上映することを提案し行っている。

現在、『子どもの居場所づくり』に関連した活動に取り組んでいるがそれに課題がありその在り方を探っているところである。



盛岡大学短期大学部幼稚教育科 2 年 小原 美沙さん

自分が初めて影絵を体験したとき、心が踊りました。この感覚を子どもたちが味わっているところを見たとき、やりがいを感じます。影がつくりだすひとつ物語の世界に遊びに来ませんか？

G-43

盛岡大学 文学部

地域を学ぶ、地域で学ぶ

滝沢市



盛岡大学文学部では、社会で生きていくうえで必要な教養—歴史学・社会学・心理学・哲学・言語学・文学・教育学などを広く学ぶことができますが、その中で、地域について知り、研究すると同時に、学生が地域と関わりを持ち、そこから学び成長することができるよう活動を実施しています。

特色ある取り組みのひとつは、教員や保育士をめざす学生たちが、地域の小・中学校、幼稚園、保育所などへ実際に出かけ、行事のサポートや学習支援、保育支援、子育て支援などのボランティアを行いながら、教員や保育士として必要な資質を身につけていくというもの。こうした活動を経て、実際に多くの卒業生が教育・保育・福祉などの現場で働いています。

また、文学部各学科には、地域の歴史や文化・社会、文学、民俗芸能などについて研究することができるゼミや研究会がありますし、学外に出て現場を歩き、地域を知るためにフィールドワークも積極的に行ってています。

今日はその中から、教員志望の学生たちによる研究活動や保育支援活動などについて、学生自身がお話しします！

G-44

盛岡市役所

モリオカ娘が伝授「もりおか暮らし最高！」

盛岡市



1 「子育てしやすい街」もりおかで、自分が輝くライフスタイルを！
断言します。あなたは 15 年以内に自身の結婚と子どもについて、一度は向き合うときが来ます！！結婚・出産を取るか、仕事を取るか？いえいえ、仕事と子育ては両立できます！むしろ、両立しているからこそ自分らしく輝ける、そんな未来を目指したい方にちょっとだけメッセージを送ります。

2 「WE ARE READY！」な盛岡の企業を紹介！～盛岡はあなたを待っている～
才能や経験、努力が活きる、あなたが輝けるポジションを揃える盛岡の企業をモリモリ紹介します。そして、そんなとておきの企業が掲載されているサイトを紹介します。今日で「盛岡の企業を知らない！」を卒業しませんか！

3 わたしの盛岡市役所 お仕事日記！
上田で育った私が、都会に憧れ大学を受験したものの行き着いた先は「群馬」。大学卒業後 Uターンし、働き始めてから 3 年目になりますが、もりおかライフ、最高です！学生生活や就職活動のこと、仕事のこと、休日のこと、何でも話します！答えます！



商工観光部経済企画課 今川 千種さん

毎日、新たな学びや気付きの連続であり、この充実の日々が私にとって働く上、生きる上での財産となっています。多くの人と関わり、「人の繋がり・あたたかさ」を身近に感じられるところが今の仕事の魅力です。

G-45

久慈市

(株)ヤマイチ

快適な住空間を通じて人と街の未来を創造

住む人のことをいちばんに考えた家づくりをサポートしたい。

私たちヤマイチは、1959年創業以来住まいに関わる各種資材を提供するとともに、豊富な商品知識やノウハウを駆使して、多彩なニーズに応じた提案をしています。

建材、木材をはじめ、システムキッチン、ユニットバス、トイレ、更にはコンクリートや鋼材など、住宅・ビルを建てる際に必要な各種住宅資材を岩手県内の建設会社、工務店などに提供しています。

近年では、長年培ってきた信頼を更に地元地域に波及できるように、一般のお客様を対象にした大規模リノベーション、水廻りリフォーム、外壁リフォーム等大小に関わらず各種リフォーム工事も承っています。お客様満足を第一に考え、日々仕事に邁進しています。

「住まい」をあらゆる面から支え、より快適で豊かな住環境を実現すること。

地域の人と人とをつなぎ、未来を創造すること。これからも、一歩一歩着実に私たちだからできること、私たちにしかできないことを進めていきます。



営業

澤山 司さん

仕事のやりがいは、自分が携わった住宅が完成する瞬間です。完成するまでの過程の中で、沢山の人との関わり合いがありながらがりができる所が、この仕事の好きな所です。

G-46

矢巾町

矢巾町役場

「とても小さな町だから」



役場の仕事に対して固いイメージを持っている方が多いと思いますが、実際のところは祭りやイベントの運営、広報取材など外に出ての活動も多く、地域の人たちの笑顔に触れることでやりがいを感じることができます！

県都盛岡に隣接し、住みやすさで人気のある矢巾町は県内長寿率がトップクラスです。現在健康日本一を目指し、減塩効果がある「ナトカリ塩」を利用した矢巾町塩彩（しおさい）プロジェクトが進行中です。また、子どもの医療費助成の拡大など、福祉分野での先進的な取り組みが多数行われています。さらに、町内には全科目的診療所が揃っているうえ、平成31年には岩手医科大学付属病院が移転予定です。ここから矢巾町の医療は更なる発展が期待されます。

また、町のシンボルとなっている「田園ホール」は県内初の音楽専用ホールで、町民による楽団・合唱団の活動が盛んであり、音楽を中心とした芸術文化を大切にしています。さらに、町内の県立不來方高校音楽部は全国屈指のレベルを持ち、海外でも演奏旅行を行うほど。町内は音楽を楽しむ環境が整っています。

広々とした田園風景に囲まれた矢巾町は、宮沢賢治も愛した南昌山を始め、夏には6万本のヒマワリが咲き誇るヒマワリ畑、古代最後の城柵である国指定史跡徳丹城など自然と歴史文化を肌で感じることができます。